

日本女子大学大学院文学研究科

紀 要

第31号

二〇二四年度大学院文学研究科学位論文題目・研究主題一覧	43
沖繩語金武方言のアクセント型別語彙集（名詞篇）	1
東大寺尊勝院弁曉と唱導史料	17
大藏流茂山家狂言台本翻刻（三） 『布施無経』『蝸牛』『神鳴』『縄綯』『金津』	1
坂本清恵・飯田むぎ・杉本さくら	1

2024年  
日本女子大学

日本女子大学大学院文学研究科

紀 要  
第31号

二〇二四年

JOURNAL  
of  
The Graduate School of Humanities  
31

A List of the Accentual Patterns of Nouns in the Kin Dialect of Okinawa	MATSUMORI Akiko	1
Typeset Versions of Shigeyama Family Kyogen Scripts of the Okura School: “Fusenaikyo,” “Kagyu,” “Kaminari,” “Nawanai” and “Kanatsu”.	SAKAMOTO Kiyoe, IIDA Mugi and SUGIMOTO Sakura	1
Todaiji Sonshoin Bengyo and Buddhist Preaching Materials	SUZUKI Maiko	17
List of Dissertation Titles and Research Topics for the Graduate School of Humanities, JWU (2024)		43

2024  
Japan Women’s University

日本女子大学大学院文学研究科紀要

編集規定(抜粋)

- 1. 本紀要は、本研究科学生および修了者に対して、研究を発表する場を提供することを主たる目的とし、毎年三月に発行する。
- 2. 略
- 3. 本紀要に執筆できる者は、以下の通りとする。①本研究科在学生、②本研究科修士課程または博士課程前期修了者、後期課程の所定の年限以上在籍し所定の単位修得後に退学した者、本研究科において博士の学位を授与された者、③本研究科専攻教員。
- 4. 本紀要に掲載する論文は、単著・共著を問わない。ただし共著の場合は、執筆者の少なくとも1名が、本規定第3項に該当する者であること。
- 5. 論文の執筆者が、本規定第3項の①または②に該当する場合は、当該専攻による選考を経ること。
- 6・7. 略
- 8. 執筆者には抜刷40部を贈呈する。それ以上は、実費を本人負担とする。
- 9. 本紀要に掲載された論文等(書誌情報、画像情報、本文)の著作権(著作財産権、copyright)は執筆者に属するが、執筆者は本学リポジトリなどへ電子化し公共の利用に供すること、および、それに付随する複製権、公衆送信権の行使について日本女子大学に許諾する。

執筆要項

- 1. 原稿は、図表および注を含めて400字詰原稿用紙30～50枚とする。英文の場合はこれと同等の長さとする。
- 2. 原稿の紀要委員会への最終提出期限を10月末とする。
- 3. 原稿は、横書きの印刷レイアウトを希望する場合は横書きで、縦書きを希望する場合は縦書きのフォーマットで提出する。
- 4. 原稿は、原則としてデジタルデータとプリントアウト2部を提出すること。デジタルデータには作成環境、氏名をテキスト形式で明記すること。(事故に備え、提出前にあらかじめ原稿のコピーを手元に保管しておくこと。)
- 5. 原稿には、英文タイトル、ローマ字氏名、所属および大学院修了年を明記すること。ただし、英文論文は、日本語タイトル、氏名を明記すること。
- 6. 原稿には、和文と英文の要旨およびキーワードを付けることができる。要旨は和文700字程度、英文は300語程度、キーワードは5語以内とする。
- 7. 図表は、本文とは別紙に書き,「図1」「表1」のように通し番号をつける。表の題名はその上部に、図と写真の題名は下部に書く。説明文はいずれも下部に書くこと。そして、本文の右余白に、表、図、写真の挿入箇所を指定しておくこと。
- 8. 校正は原則として再校までとし、著者が行う。

日本女子大学大学院文学研究科紀要 第31号

2025(令和7)年3月15日 発行

編集委員 坂田薫子(委員長)、田中大士、臼杵陽

発行者 日本女子大学  
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1  
電話 03-3943-3131 (代表)

印刷 株式会社 秀 飯 舎  
〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70  
電話 048(624)1121